

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭58-84421

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
F 16 C 17/26

識別記号

庁内整理番号  
7127-3J

⑬ 公開 昭和58年(1983)6月8日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑭ 円筒形動圧軸受

3-7-1

⑮ 実 願 昭56-179510

⑯ 考 案 者 村上保夫

⑰ 出 願 昭56(1981)12月3日

藤沢市藤沢1-12-8

⑱ 考 案 者 古村恭三郎

⑲ 出 願 人 日本精工株式会社

神奈川県中郡二宮町富士見が丘

東京都千代田区丸の内2丁目3  
番2号

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) ハウジング21に設けた円筒状孔22は円筒状のラジアル内面23とスラスト底面24とを有し、前記円筒状孔22に配設した軸体31はラジアル内面23と対向して共働するラジアル外面32と、スラスト底面24と対向して共働するスラスト端面43とを有している円筒形動圧軸受において、前記ラジアル外面32の開口、側部に設けたスパイラル状の開口側のみぞ34とラジアル外面32の底側部に設けたスパイラル状の底側のみぞ35とはみぞの向きが異なっており、前記開口側のみぞ34の開口側部はラジアル内面の開口縁41と対向し、前記底側のみぞ35の底側部は円筒状孔22の底部に設けた内周みぞ27と対向し、前記ラジアル内面の開口側のみぞと対向する部分の長さBはラジアル内面の底側のみぞと対向する部分の長さCより長いことを特徴とする円筒形動圧軸受。

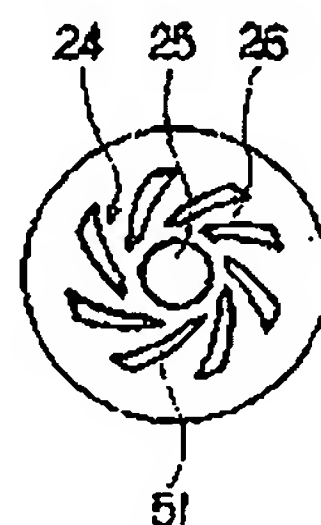
(2) スラスト底面24とスラスト端面43との少なくとも一方に動圧発生用のみぞ51を設けた実用新案登録請求の範囲第1項記載の円筒形動圧軸受。

## 図面の簡単な説明

第1図は従来の円筒形動圧軸受の断面図、第2図はこの考案の一実施例を示す円筒形動圧軸受の断面図、第3図および第5図はこの考案の他の実施例を示す円筒形動圧軸受の断面図、第4図は第3図に示すスラスト底面の平面図である。

図中、21はハウジング、22は円筒状孔、23はラジアル内面、24はスラスト底面、27は内周みぞ、31は軸体、32はラジアル外面、33はスラスト端面、34は開口側のみぞ、35は底側のみぞ、41はラジアル内面の開口縁、Bはラジアル内面の開口側のみぞと対向する部分の長さ、Cはラジアル内面の底側のみぞと対向する部分の長さである。

第4図



実開 昭58-84421(2)

